

知り合う

なぜ、物語りは、パワフルなのでしょうか。物語りの利点と限界は何ですか。

今日の聖句 - マタイ 21:33-46 (聖書協会共同訳)

33「もう一つのたとえを聞きなさい。ある家の主人がぶどう園を造り、垣を巡らし、その中に搾り場を掘り、見張りのやぐらを建て、これを農夫たちに貸して旅に出た。34 収穫の時が近づいたとき、収穫を受け取るために、僕たちを農夫のところへ送った。35 ところが、農夫たちはその僕たちを捕まえ、一人を袋叩きにし、一人を殺し、一人を石で打ち殺した。36 また、前よりも多くの僕たちを送ったが、農夫たちは同じ目に遭わせた。37 そこで最後に、『私の息子なら敬ってくれるだろう』と言って、主人は自分の息子を送った。38 農夫たちはその息子を見て話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺して、その財産を手に入れよう。』39 そして、息子を捕まえ、ぶどう園の外に放り出して殺してしまった。40 さて、ぶどう園の主人が帰って来たら、この農夫たちをどうするだろうか。」41 彼らは言った。「その悪人どもをひどい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに貸し出すに違いありません。」42 イエスは言われた。「聖書にこう書いてあるのを、まだ読んだことがないのか。／『家を建てる者の捨てた石／これが隅の親石となった。／これは主がなさったことで／私たちの目には不思議なこと。』43 だから、言っておくが、神の国はあなたがたから取り上げられ、御国にふさわしい実を結ぶ民に与えられる。44 この石の上に落ちる者は打ち砕かれ、この石が落ちて来た者は、押し潰される。」45 祭司長たちとファリサイ派の人々はこのたとえを聞いて、イエスが自分たちのことを言っておられると気付き、46 イエスを捕らえようとしたが、群衆を恐れた。群衆はイエスを預言者だと思っていたからである。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び & アプリケーション

1. イエス様は、祭司長や律法学者がイエス様について誤解していることを、このたとえ話で示そうとされました。

    a. 33節では、神によってぶどう園の周りに垣が築かれましたが、これはイスラエルの民が神のために聖なる国民として定められたことを表しているのでしょう。ユダヤ人たちは、神の意図する聖さの意味をどのように勘違いしていたのでしょうか？(マタイ 23:28; 1 ペテロ 1:13-16)

適応: 第1ペテロ 1章では、聖なる者についての教えの最後に、新しく生まれた者同士、互いに愛し合いなさいということが書かれています。教会で信者と集い、関係を持つことは、どのように人を愛し、礼拝する機会を育むのでしょうか。

2. 33節で、イエス様は祭司長や律法の教師たちに、約束された契約、犠牲による贖い、その契約に留まること、による祝福について思い出させています。これは、おそらく、ぶどうの搾り場(犠牲と祝福)、見張り台(律法)を象徴しています。

    a. 祭司長や律法の教師たちは、自分たちの伝統や律法に従う中で、何を忘れ、また何を重視し始めたのでしょうか？(マタイ 12:7; マルコ 12:33) 彼らの「厳格な固執」がどのように実を結ばない原因となったのでしょうか？(イザヤ書 29:13; マタイ 15:3-10)

適応: 信者である私たちは、イエス様にあって新しい契約を持っています。イエス・キリストに留まる者には、イエス・キリストを通して赦しが与えられ、結果的に実を結ぶことになるのです。(ヨハネ 15:5-8)許しを通して、私たちはどのようにして、さらに深く愛することができるのでしょうか？ (ヨハネ 15:12)

ディスカッション & 分かち合い

イエス様が語られた例え話の中で、あなたは自分を誰と認識しますか？おそらく43節の人々でしょう。クリスチャン生活において、実を結ぶことができる方法はたくさんあります。あなたはどんな実を結ぶことが多いですか？あなたは、どんな実をもっと結びたいですか？グループで分かち合ってください。

成長 & 奉仕

神への感謝や具体的な祈りの課題を集め、互いに祈り合いましょう。